



大新 よもやま話 MAP

※ よもやま・ばなし【四方山・話】

四方山(よもやま)は、『世間・あちこち・さまざま・雑多』という意味だが、うしろに『話』を付けると『雑談』『おしゃべり』の意味に。ちなみに四方山(しほうざん)という山が宮城県にあるが、本編とは全く関係ない。



WHAT IS DAISHIN?

大新ってなんだろう？

大新地区は、江戸時代に城下町になるまでは『社家郷(宮郷)』と呼ばれる日前・国懸神宮の領土で、農業を生業にしていた場所だった。

天正13年(1586年)の豊臣秀吉の紀州攻めで降伏し、羽柴秀長により中世的な日前・国懸宮領神宮郷は解体。その後、徳川家の時に「新町」として開かれて町人町として発展し、戦前、戦後も問屋街として栄えてきた。

そんな歴史から、商売人が連綿と暮らし働いてきた、商売人のまち大新地区。だから、そこに住む大新人は、外から来た人に寛大で、根明(ねあか)で、地区内で共存共栄しながら暮らす、そんな人々だ。



思い出はいつも大新とともに。地元の人たちの大新にまつわる昔懐かしよもやま話。

1 やっぱりブラクリ丁

遊びに行くのも食べに行くのもブラクリ丁。普段着で食べに行くのは今も残る福井食堂や、跡地が残るつばめ食堂だった。



2 和歌川と吉野杉

江戸時代から大正時代まで、和歌川は重要な物資運搬路だった。昭和の時代でも材木商が吉野杉を運んでいて、和歌川は木を貯めておく『貯木場』になっていた。



3 和歌川と環境

和歌川は戦前はボートが出るようなテートスポットだったが、戦後は工業化で水質が悪化し、全国ワースト1の川になったこと。現在は内川をきれいにする会もあり、少しずつ改善してきている。

4 憧れのユタカビル

商売人が多く住む大新の中で、ユタカビルが昭和35年(1960)にアパートとして竣工。サラリーマンが住む場所として、憧れの場所だった。



「料理船」として営業していた「かき船」。明治39年(1906)から昭和32年(1957)頃までは、毎年10月前に広島からやってきて、5月に戻るといった、行き来を繰り返していた。「かき船」はお店をしながらも、昭和54年(1979)頃までやっていった。
(写真撮影：岡本孝義氏)
出典：『和歌山市制施行120周年記念写真集 ふるさと和歌山市』(郷土出版社)



昭和31年(1956)の新通付近から西を望む。前方左手に天守閣復元前の和歌山城址が、けやき通りは戦災復興事業で側道を含め、幅員50mに拡張された。新町橋は拡張される前の状態。市電が走っていて三輪車も走り、どこかのどかな風景。
(写真提供：和歌山市)



大正14年(1925)、新通7丁目に建てられた「和歌山無尽(銀行)」。昭和20年(1945)7月9日の和歌山大空襲で、周辺が焼け野原になる中で、残った数少ない建物だったが、惜しまれつつも、老朽化に伴い平成27年(2015)に取り壊された。
(写真撮影：三木早也佳氏)

8 神輿渡御(みこしとぎよ)

この辺りのお祭りと言えば、以前は10月に開催される志磨神社の例祭の時に、お神輿を担いで町内を練り歩いた時代があった。それよりも以前は、住吉神社でもお祭りがあって、神輿を担いでいたとか。

9 問屋街と銀行とヤクザ

問屋街があまりにも賑わって儲かっていたから、銀行もあったヤクザもまちに入ってきた時代もあった。



10 小学生のオアシス

大新小学校のまわりには、かつては1個ずつ売りのたこやき屋さん、駄菓子屋さん、文房具屋さんなど、子どもたちにとって嬉しいお店が並んでいた。



11 大新幼稚園

小学校の横には幼稚園もあって、その中にもプールがあった。

12 大新小学校

大新小学校は江戸時代に、商人の子供が読み・書き・計算を習う寺子屋としてできたのが始まりで、歴史の中で統合しながら今のかたちに。昭和の時代の「大新小学校」といえば、なんといっても『講堂』で、シンボリックな存在だった。『講堂』の床板は現在、串本のパンとカフェ nagisakiさんに引き継がれているとか！毎年、6年生が『大新太鼓』を練習して披露するのが伝統。

13 ミミズでエコ活動

最近までミミズの生ゴミコンポスト(※)が大新小学校に設置されていた。
※コンポスト：生ゴミをミミズの餌にすることで、ミミズに生ゴミを栄養価の高い土に分解してもらい、ゴミがゴミにならないとってもエコシステム。

14 林泉寺

大新小学校と大新プールの間あたりに林泉寺があったが、空襲で全部焼け、戦後の区画整理で林泉寺は煙屋敷に移転した。

15 県営プール

大新といえば大新公園にあった競技用の県営プールのイメージが強い。昭和30年(1955)から昭和が終わる頃まで50mプールが公園にあった。オープン当時は1人1回2時間で20円。その当時カレー一杯100円。学校帰りにプールに行く大新っ子も多かったとか。



大新七不思議

1 運動会

北休賀町自治会では、毎年「運動会」と呼ばれる行事がある。実際はお食事会のことなのだが、なぜ運動会と呼ばれるかは誰にも分からない。

2 水掛地蔵大菩薩

大新公園の東の端にある「水掛地蔵大菩薩」。日々、地元の方のお世話をしている、お参りに訪れる人も多いが、いつからあるのか、由来については分からない。

3 焼肉まんぶくのためきさん

焼肉まんぶくさんの信楽のためきさん。ひさしの上に置いてあったり、全長150cmを超えるものもあったり。どうやって固定されているのか、何体あるのか…まちに愛される謎多きためきさんたち。

4 岡崎邦輔氏の胸像

けやき通りの新町橋の袂にある胸像。岡崎邦輔氏は、明治～昭和を生きた和歌山出身の政治家、実業家。大正12年(1925)農林大臣に就任。実業家として渋沢栄一らとともに、京阪電気鉄道の創立に加わり、役員や社長を歴任。市電やJR紀勢本線の敷設にも尽力。和歌山市出身の外交官・陸奥宗光のいとこ。なぜ胸像がけやき通りにあるのか誰も知らない。

5 和歌川の逆流

川の水は通常海に注ぐが、和歌川は「逆流」しているのだ。戦後、和歌川沿岸の急激な工業化に伴い水質が悪化。河口の和歌浦干潟で行われていた養殖のりが枯死(こし)し大問題になり、海の環境や、そこで生きる人たちの生業を守るため、昭和25年(1950)に仮堰(かりせき)を設置。海側から海水を流し、市堀川を遡り、青岸の方へ放水。現在は昔に比べ、水質は改善しているらしい。

6 けやき通りの路上駐車

けやき通りのバスレーンは伝統的に路駐OK。問屋への荷物の積み下ろしが頻繁に行われていた名残で、現在もその伝統が続いているが、近年は通勤する人の長時間の路駐も増えている、困っているお店さんも。

7 <あがらにいらんで暴力団>アーチ看板

新通6・7丁目にあるアーチ看板。新通は県内随一の問屋街として栄えた過去があり、ヤクザが事務所を構えていた時期も。アーチ看板はその時の名残り。ヤクザは問屋街の衰退とともに2010年頃自らまちを出ていった。現在は、全国でも唯一、ヤクザの事務所をそのまま活用して暴力団追放事務所。

大新町名辞典

江戸時代の町人町の歴史が見え隠れ。大新地区の町名由来大集合！

1 新雑賀町【しん・さいかまち】

雑賀町の対岸にあり、徳川家の時に開かれた「新町」に位置することが由来。<続風土記>江戸時代以来、材木商が集住していたが、昭和3年(1928)映画館「帝国座」が開館。ブラクリ丁、元寺町付近の発展に伴い、和歌山市随一の繁華街に。戦後、昭和21年帝国座が再開し商業地として復興したが、昭和40年代から歓楽街に。

2 南雑賀町【みなみ・さいかまち】

新雑賀町の南に続く町であることから。この付近は和歌川水運と紀ノ川から内川水運の結節点で、対岸の三木町堀詰に市場があったことから、「元市場」とも呼ばれたとか。<続風土記>

3 北休賀町/南休賀町【きた・きゅうがまち/みなみ・きゅうがまち】

元は御材木町と呼んだようです。<紀伊名所図会>慶長年間(1596-1615)、浅野家の家臣平塚因幡守が為の戦死後、弟の為景が当地に隠棲して休賀居士(きゅうがこじ)＝

学徳がありながら、官に使用せず民間にある人)と称したことが由来。休賀は小倉の光恩寺の信託上人に帰依し、火除を願う念仏を怠らなかつたので、休賀居士の木籠を町内の宝とし、毎年3月29日に町民が鎮火の念仏を唱えたという。<続風土記>町の南に休賀が淵と称する方10間(※)ほどの池があったとか。<紀伊名所図会>
※1間=1.82m

4 新通【しん・とおり】

新通四丁目、五丁目を「松乃木町(まつのみちのう)」と呼んでいたと伝えられている。<続風土記>徳川家の入国以降新たに町割さ

れた新町の中心街。商業地として栄えた。

5 新中通【しん・なかとおり】

新通に並行する町で、新中通四丁目を「下之湯屋之丁(しもゆやのちよう)」、五丁目を「籠屋丁(かごやちよう)」、六丁目を「蔭絵屋之丁(まきえやのちよう)」と称して、その職人たちが住んでいたと思われる。

6 新八百屋丁【しん・やおやちよう】

広瀬八百屋町に対して、新町の八百屋集住地であったこと由来。江戸期の城下町に

は同じ業種の町人が住む街がつけられていた。

7 新大工町【しん・たいくまち】

本町の方にある内大工町に対し、城下の拡大と共に大工人数が増加し、新に設置された大工の集住地。

8 木挽丁【こびきちよう】

和歌山城の大修理の工事に伴う木挽職人(のこぎり引き人夫)が集住したこと由来。

9 数寄屋丁【すきやちよう】

江戸時代初め、幕府の若年寄りに属し、茶道の接待を担当するという、いわゆるVIPへの城内の案内や茶の提供を行った「御数寄屋坊主」が居住したこと由来。

10 坊主丁【ほうずちよう】

数寄屋坊主が居住したこと由来。上に同じ。



ご近所さんたちだからこそ知っている
今をときめくよもやま話。

23 Cobato Parlour・COBATO BAKE Factory
大阪のBATON GROUPが和歌山初出店！焼き立てベーグルが人気です。2階の客席は眺めも良く居心地も抜群！名物地域猫「小川さん」にも会えるかも？

25 大新西入青魚
お魚を中心に旬の素材の美味しさを引き出した趣向を凝らしたお料理が絶品。看板猫の「ワサビ」にも会いに来てね。

27 one stop salon nana
4児のママであるパワフルなオナさんが運営するサロン。身体を健康に美しくをモットーとする高周波機器インディバ施術をどうぞ。遠赤外線ドームもぜひ。

する社料理やさん。土手鍋とかき飯がオススメ。

32 湯川泰洋紙店
ラガーマンの湯川さんファミリーが大新と泉南で洋紙の卸業をやっています。珍しい紙の注文や、エンボス加工も可能です。会社さんはもちろん、個人のご依頼もウェルカム！

1 焼肉まんぶく
和歌山市ではじめて焼肉屋さんをオープンしたという老舗。初代のため好きが高じて、信楽焼のためきかトレードマーク。何匹のためきがいるのかは誰も知らない。



災害への備え
近所で火災があった時には、大新小学校のプールの水を散水できるようにしたり、災害時に飲めるようになる。大新公園には、災害時に使える井戸があったり、災害用トイレの設置ができるようになっている。トイレは紀和駅の倉庫に保管している。倉庫の鍵は大新地区在住の市役所職員さんが自宅に保管してくれていて、災害時はその職員さんが開けてくれる。

2 帝国座跡
昭和3年(1928)〜平成15年(2003)まで営業していた東宝洋画系映画館「帝国座」。閉館後はボウリングジムになっていたが、建物の老朽化で令和5年(2023年)に取り壊し。

3 福井食堂
定食の惣菜は自分でとるスタイル。地元の常連さんで賑わう昔ながらの超ローカル食堂。冬限定のおでんにほっこり。

4 諏訪園茶舗
人と同じことはするな！がモットーの永原家。180年続く諏訪園を切り盛りするのは頼もしい娘息子たち。かき氷と抹茶スイーツが有名。西庄にカフェさいさい長屋もOPEN！

5 山東サンシャイン
店内で洗濯からアイロンがけまでおこなう。今の時代となつては珍しいクリーニング屋さん。奥さんは縫い物が趣味で、手作りの洋服やバックなども店頭で販売中。

6 中六薬局
100余年の歴史あり。ひとりひとりの症状、体質にあわせて、オーダーメイドで漢方を調合してくれる町の名漢方薬局。息子2人は映画を自主制作、コンペティションで賞をとり音楽をやっていたりと、個性的な宇田田家！

7 さかうえ接骨院
総合型地域スポーツクラブわかやまCity Club発起人の阪上さんが運営する接骨院。大新小学校、大新公園を拠点に、こどもからお年寄りまでの体づくり、健康づくり、コミュニティづくりをおこなう。

8 崎山歯科医院
歯医者さんの崎山さんは大新小学校体育館で開催しているわかやまCity Clubで、パトミンの先生をやっている。パトミンを習いたい人は崎山さんに教えてもらおう。

9 大新連絡所・公民館
大新連絡所・公民館は、各講座を行ったり大新小学校の児童の絵や習字の展示をやったりする。図書館の本の返却もできる便利な場所。

10 ベタンク
平日日中大新公園でベタンク開催中。誰でも気軽に参加できるので、若い人たちもぜひ参加して！

11 大新消防分団
大新の消防団は、消防団の全国大会にも出場するほどの実力。みなさん日々の訓練をしながら、毎年乾燥が進む冬の時期には毎晩、消防車で地域を巡回、地域の安全を見守ってくれます。絶対団員募集中心！お問い合わせは大新連絡所(073-422-4534)まで。

12 公園ぐるりの会
大新公園周辺に住んでいるおじちゃん、おばあちゃん、毎月第一土曜の8時から、開始

時間前倒し気味で公園の掃除をしてくれています。

13 けんまん
昔はやんちゃだったおっちゃんが、毎日一生懸命豚まんを作っています。テレビでも紹介されて一躍有名に。毎日夜中から仕込みけれど、お昼には売り切れ。電話予約がおすすめ！けんまん：073-423-5590

14 和歌山新中通郵便局
絶滅危惧種へのあくなき探究心を満たすべく、世界のティープな場所まで旅する田中局長がいる。町の郵便局。ぜひ局長に話を聞きに行ってみて！

15 大一紙工
紙の折り加工専門店。謎解きゲームが大好きな息子さんとお父さんが毎日チラシなどの折り加工や裁断加工をしています。湯川泰洋紙店とお父さん同士が同級生。

16 喫茶竹垣
時が経つのを忘れ、まった〜りできる喫茶店。自家製カレーに柔らかなトンカツ。朝8時〜閉店まで食べられる500円モーニングがおすすめ。

17 美容室 セララムサロン norae/ma nicee
旦那さんが美容室、奥さんがセララムフェイシャルサロンを営むオシャレな美容空間。美しい木目のお顔を見つけてね！

18 ドッグ繊維
大手アパレルブランドのOEM企画の販売から修品物流までやっている。和歌山が産地のサマーニット製品が得意！新通ではサンプル品を縫うための工房が併設されている。

19 Guesthouse RICO
宿・住・働・食の機能が集まったRICO。コワーキングも可で、チーズケーキが人気。オーナーは「みやっち」がただ名だけ、地元のおっちゃん、おばちゃんからは「たしかくん」と呼ばれています。万一律波がきそうなら屋上へ上がれます。

20 奥上モーターズ
このまちや地元のことをよく知るおっちゃんとおばちゃんといくメンブラザースの家族が営む自動車修理工場。おっちゃんは釣り好きで船も持っている！

21 幸福湯
創業70年以上の銭湯。サウナと超強力ジャグジーが人気！大新を歩くと、幸福湯Tシャツを着ている人に必ず遭遇します。

22 グリル三笠
三笠の洋食で育った大多数の老舗洋食屋さん。オーナーは熱帯魚とゴルフに生きがいを感じる。ボリュームなタイムランチがおすすめです。上あごの火傷に注意！

34 小坂商店
旅行が大好きなおばちゃんとおっちゃんが運営する繊維輸出、卸の会社。お客さんはほとんど外国人！最近おばちゃんはお孫ちゃんと「ダム巡り」にはまっています。

35 井村紙店
自称べっぴん姉妹と弟の3人で運営する紙の間屋さん。平均年齢81歳！印刷会社やデザイン会社に紙を裁断して卸している。平日7時〜17時までの営業で、若い人とお喋りが大好き！「チオビタドリンク用意して待ってるで。」

36 小さなスコーン屋さん ゆいぐる
沖縄出身のあゆりさんのその人柄もあり、ファンが多い人気のスコーン屋さん。カフェでの借借り営業から令和6年(2024)春に実店舗OPEN！

37 精進 cafe ふおい 新通店
オーナーのゆきこさんはサバサバ美人。もう17年以上もお肉、お魚を食べてない！コンブチャ作りは10年前から実践していて、健康にも良く、めっちゃ美味しい！

38 松尾酒店
和歌山産のお酒のみ扱う酒屋さん。2027年で100周年！店内はお酒を作るときに使っていた樽やレトロなバーカウンターがディスプレイされて面白。松尾さんは現在、大新の連合自治会長。とっても優しくあたたかい、素敵なお父さん的存在◎

39 ウメダ電器
まちの電気屋さんを継いだ梅田さん。ものづくりと音楽好きが高じて、竹スピーカーを作りました！お客さんは東京を始め全国に！持っているレコードは3000枚以上。国内外の音楽家、写真家も集まるお店。円広志の番組「となりの人間国宝さん」認定！

40 bois de gui / balder coffee
専門学校時代の友人コンビが作り出す花とコーヒーのスタイリッシュ空間。3階は宿泊兼レンタルスペースにもなっていて、ときどきイベント開催もあり。友人コンビにも負けない和気藹々としたスタッフ達も魅力の一つです！現在公園の店側がbois de guiさんテイストに増強中。もっとモリモリしていくのが夢。

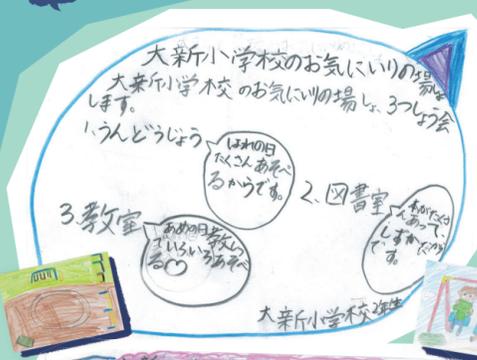
41 lanugo
北の新天地のおしゃれ可愛い美容室、lanugoさん。個性溢れる素敵な美容師さんたちが出て来てくれます。新店も近所にOPEN予定！

42 Austin cycle
腕利きでめっちゃ優しい自転車やさん、オースティン。修理後はフレームを磨いて仕上げまでしてくれるという、自転車屋に溢れてたオースティン。日本人とカナダ人のハーフだけど、できれば日本語で話しかけて！

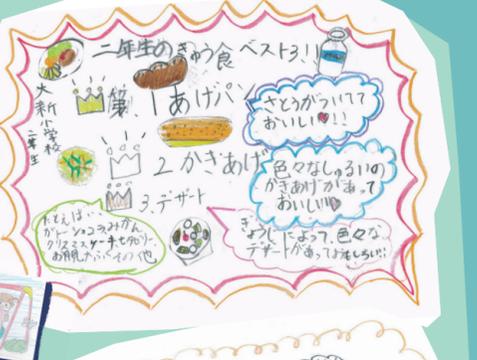
大新小学校2年生の好きなこと教えます！

大新小学校2年生の元気っ子たちが、大好きな小学校、公園、駄菓子屋たんぼぼさんの好きなこと、オススメしたいことを書いてくれました！

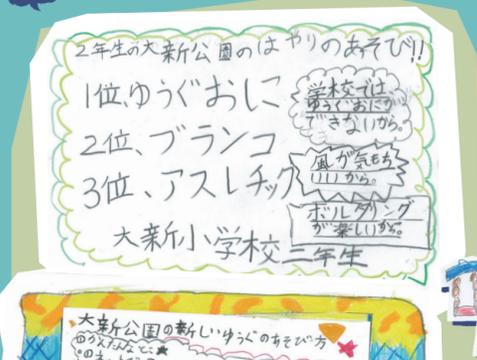
43 大新小学校



44 大新公園



45 駄菓子屋たんぼぼ



46 コールデンチョコ

